

キャラクター名  
アウェイク

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	ヒーロー
	ウロボロス			年齢	10代後半	性別
オプション			年齢	10代後半	性別	男型
覚醒	忘却	衝動	恐怖	初期侵食率	43%	
出自	旧き記憶	経験	勧誘	邂逅	過去の同胞	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	44
肉体	2	1	0	2		5	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	4		0			4	戦闘移動	13
社会	0		0	1		1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11	2	射撃	1	2	RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:ヒーロー	1	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣	白兵	5r+13	0	+8		HP[LV*2]まで消費し攻撃力に計上
デスクリーパー	白兵	5r+9	1	13+1D		HP-2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
パワースーツ:プライマル		5			

所持品	
ヒーローズクロス	
コネ:要人への貸し	
高性能治療キット	
カテゴリ:零細ヒーロー	
オーヴァードシュート	
相棒	

合計装甲: 5    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
申し子	P	N		
霧生冴花	P 連帯感	N 食傷		
神月正義 (PU)	P 誠意	N 食傷		
飛鳥	P 有為	N 劣等感		
太陽さん	P 連帯感	N 不快感		
小夜さん	P 好奇心	N 脅威		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間エフェクト使用判定達成値+[LV]								
リミテッドイモータル	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: HP+[LV*2]回復								
青:赫き剣	5	3+1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: <白兵> 武器作成								
コンセ:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-[LV](下限7)								
赤:鮮血の一撃	3	2+1	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定ダイス+[LV+1]、HP2消費								
混色の氾濫	1	2	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果: 範囲変更、[LV] 回/シナリオ								
混沌なる主	5	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 達成値+[LV*2]、3回/シーン								
シャドーテンタクルス	★	1	メジャー	10m	-	対決	-	
効果: 射程変更								
黒:物質合成	★	5+2	メジャー	至近	自身	自動	100	
効果: シーン間選択武器の効果を合算、1回/シーン								
セレリティ	1	5	メジャー	至近	自身	自動	D	
効果: メジャーアクションを2回行う、HP-[10-LV]、1回/シナリオ								
カバディフェンス	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバリング、行動消費なし、1回/メイン、[LV]回/シナリオ								
レネゲイドイーター	5	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: G値+[LV+1]D10								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+1[LV]個								

「自分が何者なのか」を探しているRB。種別は正確には不明だが、確実に人の記憶を持っているためヒューマンか、あるいは何者かの記憶により維持されている存在のためレジェンドかのどちらかに分類される。活動年月は5年程度、ヒーロー歴は2年程度。ヒーローとして決して有名ではない。

確実に彼自身の記憶であると言える最初の記憶は、寂れた島。そこで目が覚める以前は何をしていたのかを把握していないため、そこで生まれたと考えるのが自然である。しかし彼の中には、「別の誰か」の記憶がある。自分が殺されたというのにとても満たされ、誰かと一緒に笑って怒られ、多くを喪って復讐に駆られた、そんな記憶が。場所も世界も滅茶苦茶で、一人の記憶とは思えない不思議な記憶だ。記憶の中に一番出てくる名前は「ユキ」、一番出てくる顔は「清音さん」である。「ユキ」と呼ばれるたび心が跳ね、「清音さん」と呼ぶたび心が温かくなる。この記憶を捨てることも忘れ去ることもできないため、心の奥底にしまい込んで、その蓋を開けないようにしている。

目的も何なかった頃、Mrコバルトに誘われるままに、彼の作戦に協力していた時期がある。オーヴァードだとかノーマルだとか、ヒーローだとかヴィランだとか、そういったものに興味がなく、言われるままに行動していたが、ヒーロー時代の神月正義と対峙し、「すべきことがないのなら、すべきことがある人のために戦うといい」「ヒーローは多くの人の目に付く、キミの記憶の中の人を知る人が見つけてくれるかもしれない」と説得され、ヒーローとなる。

力を振るうときはすぐに消えるホタルのような淡い緑の光があたりに舞い、体がほのかに光り、透き通る。その儚き姿から繰り出される無情な影の刃の攻撃から『廻天する魂 (ハートレス・ゴースト)』と呼ばれることもある。

呼称のほとんどは神月から与えられている。アウェイクと言う名だけはMrコバルトから与えられたもの。「人間として」の名は燈台螢火(えにしだ・けいご)。彼自身嫌いだはないのだが、これを人に公開する予定は今のところない。

